



令和4年度 日光市の予算についてお知らせします

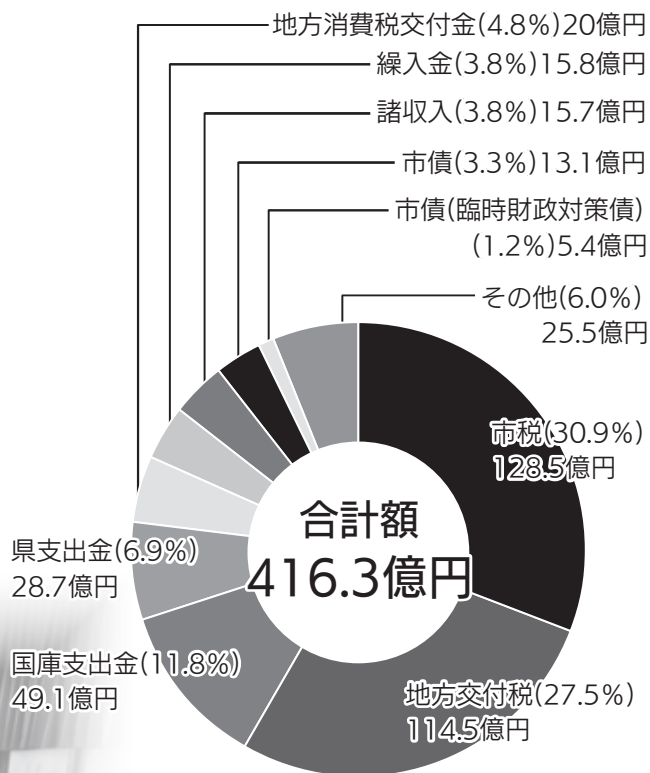
令和4年度の予算規模は、一般会計において416億3千万円で、前年度と比較して1.5%の減になりました。

特別会計予算総額は、187億2,479万2千円で、前年度と比較して4.7%の増となりました。

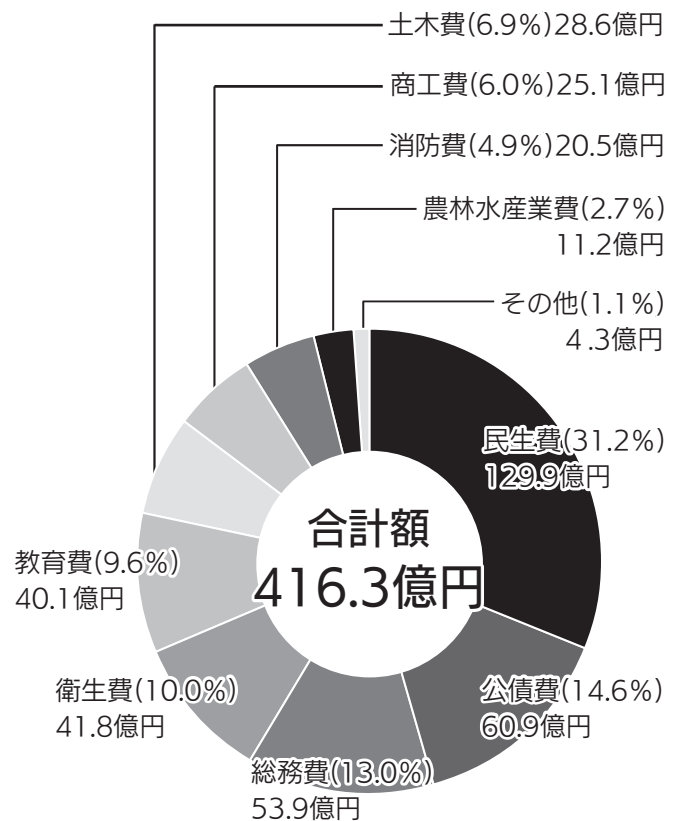
令和4年度から「第2次日光市総合計画・後期基本計画」がスタートします。市の財政は、依然として厳しい状況にありますが、新型コロナウイルス感染症対策や市内経済活性化のため、プレミアム付き共通商品券発行事業などを継続するほか、後期基本計画に掲げた重点プロジェクトに取り組みます。

くわしくは 財政課 財政係 ☎0288-21-5162

歳入



歳出



令和4年度特別会計 会計別当初予算額

会計名	令和4年度予算額	対前年度伸率
国民健康保険事業	89億6,493.4万円	2.1%
後期高齢者医療事業	12億3,510.3万円	4.6%
介護保険事業	82億3,464.9万円	8.1%
診療所事業	1億4,347.6万円	△3.4%
温泉事業	7,235.4万円	9.3%
銅山観光事業	7,427.1万円	△5.2%
公共用地先行取得事業	0.5万円	0%

3つの重点プロジェクトにおける主な事業について

人がつながるプロジェクト

(互助・共助)

地域教育力活性化事業費

(595.7 万円)

地域、学校、家庭が連携し、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えるため、学校支援ボランティアの活動を支援するとともに、新たに学校運営協議会を市内 10 校に先行導入した上で市内すべての小中学校への設置を目指します。



人材育成・担い手確保事業費

(696.7 万円)

森林環境の整備促進を図るため、新たに「地域林政アドバイザー」を配置し、人材育成や担い手の確保を図ります。



D X(※)推進事業費

(1,375.9 万円)

デジタル戦略のマネジメントや新たなデジタル技術の活用などについて、民間のスペシャリストを登用し自治体 D X を推進します。

企画調整費

(449.4 万円)

職員一人ひとりの政策形成能力を高めるため、「日光みらい研究所」を設け、新たに政策アドバイザーを登用します。

魅力いっぱいプロジェクト

(産業振興)

シティプロモーション事業費

(1,818.7 万円)

市への来訪や購買意欲の向上、市民へのシビックプライドの醸成を図るため、「NEW DAY, NEW LIGHT. 日光」のブランドコンセプトのもと、プロモーションを実施します。



企業オフィス設置等推進事業費

(1,160 万円)

市外から企業を積極的に呼び込むため、企業オフィス設置等推進事業を創設し、市内への本社、支社等の進出を促すとともにサテライトオフィスなどの設置を支援します。

新しい働き方推進事業費

(2,086 万円)

ワーケーションやテレワークの定着に向けて、企業モニターツアーの実施や、実施する事業者等への支援を行います。

また、講演会の開催などを行い、専門家からの助言も得ながら、官民協働で「日光市での新しい働き方」の創出に取り組みます。

未来かがやくプロジェクト

(教育)

小・中学校教材費

(2,448.9 万円)

子どもたちの学力向上を図るため、全国規模の学力調査に加え、市独自の調査を実施します。

学校教育支援事業費

(35,292.5 万円)

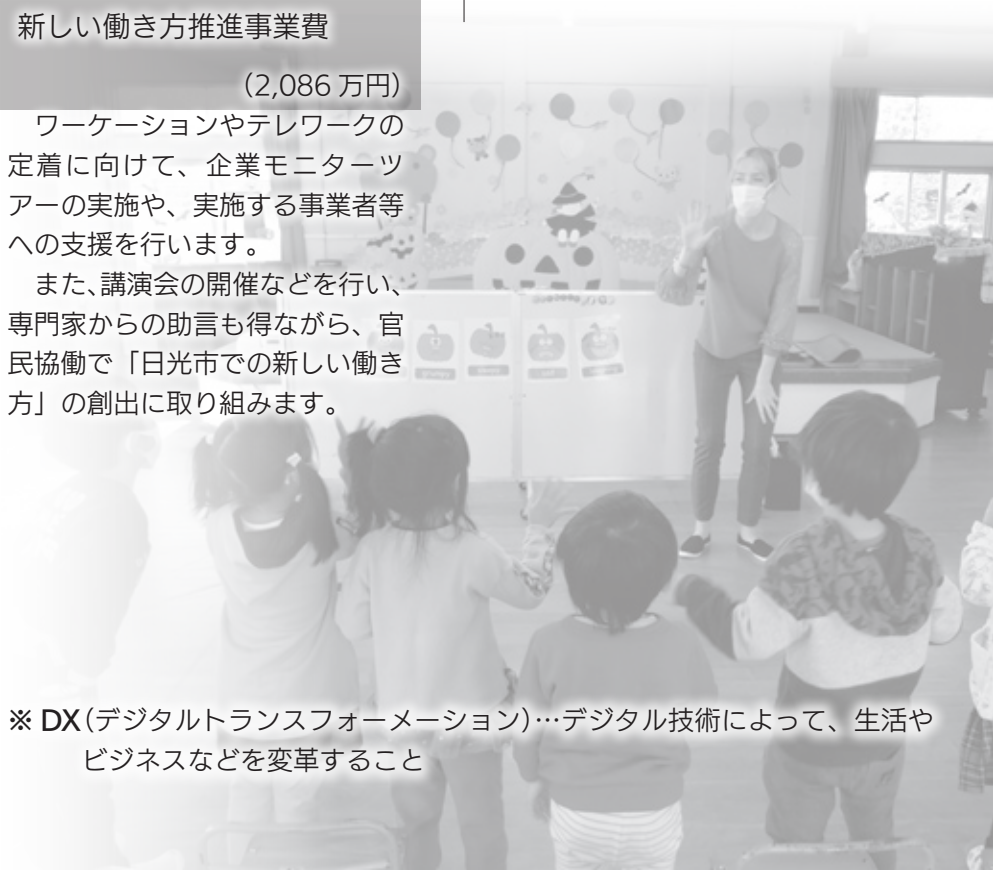
一人ひとりの成長を支える教育環境を目指し、不登校などに対する相談、支援体制の充実を図るため、教育支援センターの機能を強化します。

早期英語教育事業費

(2,563.3 万円)

英語力の向上を図るため、英検助成の対象を小学校 5・6 年生に拡充します。

また、未就学児が英語に触れる機会を設けるなど、幼少期から中学生まで一貫した英語教育に取り組めます。



※ D X(デジタルトランスフォーメーション)…デジタル技術によって、生活やビジネスなどを変革すること